

# シラバス(介護職員初任者研修)

## 9. こころとからだのしくみと生活支援技術

内 容
⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
◎入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法
●羞恥心や遠慮への配慮、●体調の確認、●全身清拭(身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方)、●目・鼻腔・耳・爪の清潔方法、●陰部清浄(臥床状態での方法)、●足浴・手浴・洗髪
⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
◎排泄に関する基礎知識、さまざま排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法
●排泄とは、●身体面(生理面)での意味、●心理面での意味、●社会的な意味、●プライド・羞恥心、●プライバシーの確保、●おむつは最後の手段／おむつ使用の弊害、●排泄障害が日常生活上に及ぼす影響、●排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連、●一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法、●便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫／繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ)
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
◎睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法
●安眠のための介護の工夫、●環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室)、●安楽な姿勢・褥瘡予防
⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護
◎終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援
●終末期ケアとは、●高齢者の死に至る過程(高齢者の自然死(老衰)、癌死)、●臨終が近づいたときの兆候と介護、●介護従事者の基本的な態度、●多職種間の情報共有の必要性
3. 生活支援技術演習
⑬介護課程の基礎的理解
●介護課程の目的・意義・展開、●介護課程とチームアプローチ
⑭総合生活支援技術演習
◎生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。
●事例の提示 → こころとからだの力が発揮できない要因の分析 → 適切な支援技術の検討 → 支援技術の課題
●事例は高齢(要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可)から2事例を選択して実施